

NY マーケットレポート (2016 年 6 月 22 日)

NY 外為市場のドル/円は 104.50 を中心とした狭いレンジで推移した。この日公表された英調査会社 2 社の世論調査結果では、接戦ながらも僅差で離脱がリードしており、市場も次第に警戒感を強めた。原油価格や米国株式市場は軟調に推移したためドル/円の上値を押さえられた。ユーロ/円は英世論調査を受け円高地合い。世論調査が出る前は堅調に推移して高値 118.61 まで買われる場面もあったが、オピニウム調査で残留支持 44%、離脱 45%、TNS 調査では支持 41%、離脱 43%となり、双方とも離脱派が上回った事が嫌気されポンドやユーロが売られ、ユーロ/円は 118 円を割り、頭が重い展開に。ただ、ブックメーカーのオッズでは残留派が有利となっており、大きな下げには繋がらなかった。

2016年 6月22日 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	104.41	104.86	104.33
EUR/JPY	117.69	117.97	117.44
GBP/JPY	153.00	153.95	152.95
AUD/JPY	78.13	78.30	77.78
EUR/USD	1.1274	1.1277	1.1237

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	104.67	104.37
EUR/JPY	118.21	117.65
GBP/JPY	153.71	152.86
AUD/JPY	78.47	78.09
EUR/USD	1.1300	1.1265

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	16,065.72	-103.39
ハンセン指数	20,795.12	+126.68
上海総合	2,905.55	+26.99
韓国総合指数	1,992.58	+9.88
豪ASX200	5,270.95	-3.41
インドSENSEX指数	26,765.65	-47.13
シンガポールST指数	2,786.13	-3.32

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6,261.19	+34.64
仏CAC40	4,380.03	+12.79
独DAX	10,071.06	+55.52
ST欧州600	341.32	+1.28
西IBEX35指数	8,702.00	+34.70
伊FTSE MIB指数	17,323.27	-107.90
南ア 全株指数	53,557.20	+602.02

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	104.46	104.78	104.35
EUR/JPY	117.99	118.61	117.83
GBP/JPY	153.60	154.59	152.89
AUD/JPY	78.32	78.75	78.21
NZD/JPY	74.83	75.25	74.75
EUR/USD	1.1297	1.1338	1.1269
AUD/USD	0.7499	0.7527	0.7485

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17780.83	-48.90
S&P500	2085.45	-3.45
NASDAQ	4833.32	-10.44
日経225 (CME)	15945.00	-170.00
トロント総合	14003.81	-8.51
ボルサ指数	45806.16	+100.74
ボベスバ指数	50156.30	-681.50

6/23 経済指標スケジュール

14:00 【日本】 4月 景気一致CI指数
 14:00 【日本】 4月 景気先行CI指数
 14:00 【シンガポール】 5月 消費者物価指数
 15:45 【フランス】 6月 企業景況感指数
 15:45 【フランス】 6月 生産アウトLOOK指数
 16:00 【フランス】 6月 製造業PMI
 16:00 【フランス】 6月 非製造業PMI
 16:30 【ドイツ】 6月 製造業PMI
 16:30 【ドイツ】 6月 非製造業PMI
 17:00 【欧州】 6月 製造業PMI
 17:00 【欧州】 6月 総合PMI
 17:00 【欧州】 6月 非製造業PMI
 17:00 【ノルウェー】 ノルウェー中銀 政策金利-6/23
 17:30 【香港】 1Q 国際収支[経常収支]
 21:30 【米国】 5月 シカゴ連銀全米活動指数
 21:30 【米国】 失業保険継続受給者数
 21:30 【米国】 新規失業保険申請件数
 22:45 【米国】 6月 製造業PMI
 23:00 【米国】 5月 景気先行指標総合指数
 23:00 【米国】 5月 新築住宅販売件数
 0:00 【米国】 6月 ガンザスシティ連銀製造業活動指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1270.00	-2.50
NY 原油	49.13	-0.72
CME コーン	393.00	-3.25
CBOT 大豆	1137.50	+4.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.74%	0.76%
3年債	0.87%	0.89%
5年債	1.20%	1.20%
7年債	1.46%	1.49%
10年債	1.69%	1.71%
30年債	2.50%	2.51%

6/23 主要会議・講演・その他予定

・ 英国EU離脱の是非を問う国民投票開始

出所: SBILM

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 104.57 ユーロ/円 117.97 ユーロ/ドル 1.1282

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6266.17	+39.62	ダウ 先物ミニ	17747	+10
仏 CAC40	4390.73	+23.49	S&P 500 ミニ	2082.00	+1.50
独 DAX	10110.97	+95.43	NASDAQ 100 ミニ	4408.00	+7.75

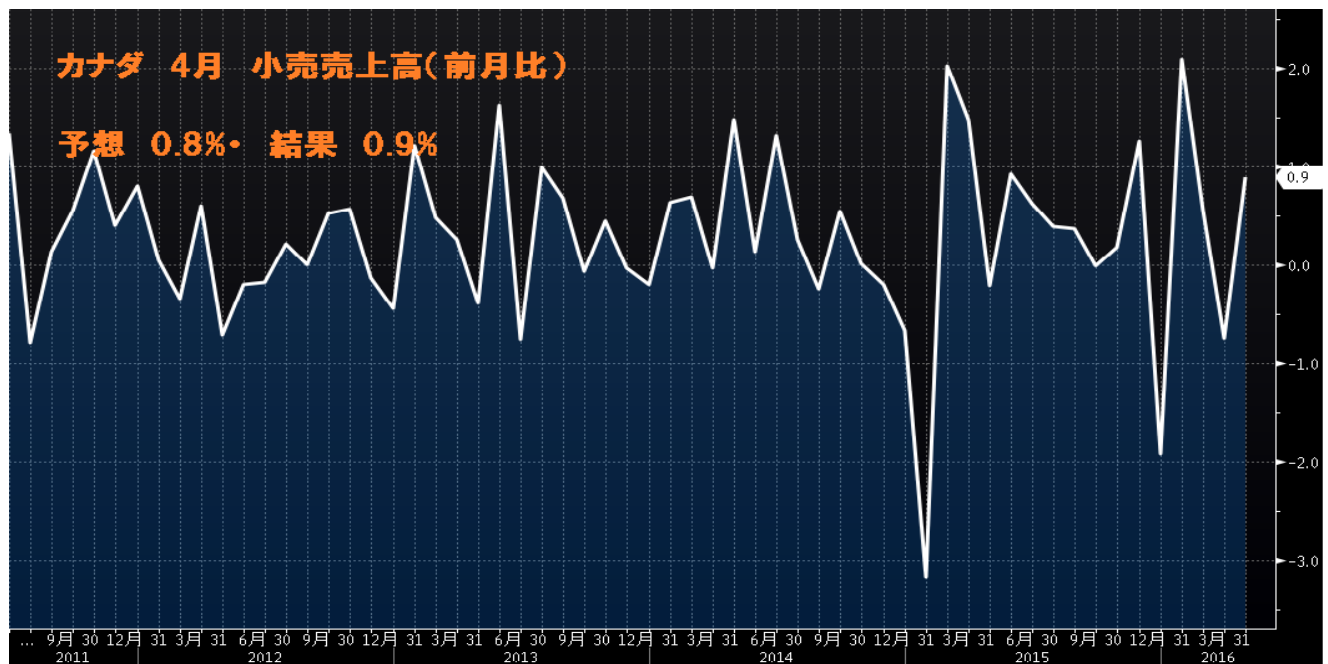
出所：SBILM

21:30

◀ 経済指標の結果 ▶

カナダ 4月 小売売上高（前月比） 0.9%（前回：-1.0%⇒-0.8%・予想：0.7%）

カナダ 4月 小売売上高[除自動車]（前月比）1.3%（前回：-0.3%⇒-0.1%・予想：0.6%）



出所：Bloomberg

22:00

◆◀ 経済指標の結果 ▶

米国 4月 住宅価格指数 (前月比) 0.2% (前回 : 0.7%・予想 : 0.6%)



出所 : Bloomberg

22:30

◆◀ 主要ニュース ▶

IMF-米国に関する年次報告書

- ・「ドルは 10—20%過大評価されている」
- ・「2016 年米経済成長率を 2.2%と予想—4 月時点では 2.4%予想」
- ・「米経済はおおむね「良好」、インフレは抑制されている」
- ・「FOMC、2%のインフレ目標でオーバーシュートの余地」
- ・「極めて緩やかな利上げペースとなる明らかな論拠がある」
- ・「ドルが成長へのリスクに、原油は上方リスクに」
- ・「5 月の米雇用統計、経済失速への懸念が浮上」

国際通貨基金(IMF)は 22 日に公表した米国に関する年次報告書で米経済成長率は 2016 年は 2.2%、17 年は 2.5%になると予想。インフレ率は米連邦準備理事会(FRB)が目標とする 2%に向けて緩やかに上昇していくとの見方を示した。そのうえで「ドル相場は 10—20%過大評価されている」と指摘。「現在の実効為替レートに基づく米国の経常赤字の国内総生産(GDP)に対する比率は 2020 年までに 4%を超えると予想される」とした。IMF は将来の米成長に対する最大のリスクとして、外需低迷、高齢化に伴う労働参加率の低下、貧困問題の深刻さを挙げた。

22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17863.01	+33.28
ナスダック	4845.70	+1.94

出所 : SBILM

23:00

◆◀ 経済指標の結果 ▶

欧州 6 月 消費者信頼感 -7.3 (前回: -7.0・予想: -7.0)

23:00

◆◀ 経済指標の結果 ▶

米国 5 月 中古住宅販売件数 (前月比) 1.8% (前回: 1.7%⇒1.3%・予想: 1.8%)

米国 5 月 中古住宅販売件数 553 万件 (前回: 545 万件⇒543 万件・予想: 555 万件)



出所: Bloomberg

23:30

●米 EIA 週間ガソリン在庫 前週比 62 万 7 千バレル増

●米 EIA 週間原油在庫 前週比 91 万 7 千バレル減

米エネルギー情報局 (EIA) の在庫週報を受けてマイナス圏に沈んだ。WTI8 月物は 23 時 40 分現在、前日清算値比 0.26 ドル安の 1 バレル=49.59 ドル。

23:40

◆◀ 要人発言 ▶

イエレン FRB 議長

- ・「経済成長は上向きつつある」
- ・「雇用の伸びが上向くと強く期待している」
- ・「個人消費は大きく増加した」
- ・「最近の雇用市場の弱さ、一過性のものとの見方変わらず」
- ・「月間の雇用者の数字は極めて大きく変動し得る」
- ・「労働参加率の低下は継続する可能性が高い」

23:30

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

ニューヨーク株式市場のダウ工業株 30 種平均は続伸。英国の欧州連合 (EU) 離脱の是非を問う国民投票を 23 日に控え、EU 残留派が優勢との観測からダウ平均は買い注文が先行した。ただ、結果を見極めたいとする様子見ムードも強い。

00 : 52

◆《要人発言》

イエレン FRB 議長

- ・「英 EU 離脱、米国への影響大きいか不明だが影響及ぶ可能性」
- ・「24・25 日に緊急会合の予定あるかとの質問に対し「ない」

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6,261.19	+34.64
仏 CAC40	4,380.03	+12.79
独 DAX	10,071.06	+55.52
ストック欧州 600 指数	341.32	+1.28
ユーロファースト 300 指数	1342.39	+6.29
スペイン IBEX35 指数	8,702.00	+34.70
イタリア FTSE MIB 指数	17,323.27	-107.90
南ア アフリカ全株指数	53,557.20	+602.02

出所：SBILM

《欧州株式市場》

22 日の欧州株式相場は終盤に上げ幅を削る展開となった。欧州連合（EU）残留・離脱を問う英国の国民投票に関する最新の世論調査で離脱派がやや優位な状況を示し、同国が残留を選ぶとの楽観に冷や水が浴びせられた格好で上げ幅を縮小して終了した。



03：00

◆《市況ニュース》

欧州債：独国債下落、イタリア債とのスプレッド縮小－英残留観測で

22日の欧州債市場ではドイツ国債が下落。欧州連合（EU）残留・離脱を問う英国の国民投票を翌日に控え、ブックメーカーのオッズは英国が残留する公算が大きいことを示している。ドイツ10年債利回りは2週間ぶり高水準に接近し、イタリア国債とのスプレッドは過去1週間で最少となった。

4：10

NY金は、中心限月が前日比2.50ドル安の1オンス＝1270.00ドルで取引を終了した。

4：20

NY原油は、中心限月が前日比0.72ドル安の1バレル＝49.13ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1270.00	-2.50
NY 原油	49.13	-0.72

出所：SBILM

《 NY 金市場 》

欧州連合（EU）残留の是非を問う英国国民投票を明日に控える中、残留期待を背景としたリスク回避の流れが継続し、小幅に値を下げた。ただ、投票前日ということもあって投資家の間では模様眺めを決め込む向きも多く、小動きに終始した。



出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

朝方は前日夕方に発表された米石油協会 (API) の週報で大幅な取り崩しが報告されたことや、外国為替市場でのドル安・ユーロ高を支援材料に割安感から反発し、50 ドル付近で推移していた。しかし同日発表された米週間石油統計で原油在庫が市場予想ほど減らなかったため、供給過剰感が再燃して売りが優勢となった。



出所：Bloomberg

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17780.83	-48.90	17920.16	17770.36
S&P500 種	2085.45	-3.45	2099.71	2084.36
ナスダック	4833.32	-10.44	4875.93	4929.99

出所：SBILM

《米株式市場》

米株式相場は欧州連合(EU)離脱の是非を問う23日の英国民投票で残留が決まるかどうかに注目が集まっている地合いが不安定な中、48.90ドル安の17,780.83で引けた。

発表があった英国の2つの世論調査ともに離脱派が残留派を上回った事が嫌気され、NYダウの上値が押さえられた。米週間石油統計で原油在庫が市場予想ほど減らなかったことで原油先物が売られ、マイナス圏に入った。



出所：Bloomberg

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	104.46	104.78	104.35
EUR/JPY	117.99	118.61	117.83
GBP/JPY	153.60	154.59	152.89
AUD/JPY	78.32	78.75	78.21
NZD/JPY	74.83	75.25	74.75
EUR/USD	1.1297	1.1338	1.1269
AUD/USD	0.7499	0.7527	0.7485

出所：SBILM

《外国為替市場》

NY 外為市場のドル/円は104.50を中心とした狭いレンジで推移した。この日公表された英調査会社2社の世論調査結果では、接戦ながらも僅差で離脱がリードしており、市場も次第に警戒感を強めた。原油価格や米国株式市場も軟調で推移したためドル円の上値を押さえられた。



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。